

令和6年能登半島地震 被災地支援



輪島市河井町の大規模火災現場(朝市通り付近)での消防活動

令和6年1月1日に石川県能登地方で発生した能登半島地震において、各方面からの要請を受け、津市は救急救助活動や給水活動、避難所運営など、さまざまな被災地支援活動を行っています。今後も各機関と調整し、復興に向けて必要な支援を継続します。

津市の支援

1月1日

緊急消防援助隊の
出動準備体制を構築



第1次緊急消防援助隊(21人)の出発

1月10日～19日

緊急消防援助隊による救急救助活動
輪島市へ計63人を派遣し、救急救助活動に従事



活動方針を決める小隊長会議

1月1日

地震発生

1月4日

1月4日～8日、1月13日～17日

被災建築物応急危険度判定活動
羽咋市、中能登町、穴水町に
応急危険度判定士を各2人派遣



被災した家屋を調査し、危険度を判定

1月5日

1月5日～

義援金箱の設置
市本庁舎や各総合支所
など63カ所に設置

1月10日～

市営住宅の提供
被災者へ市営住宅26
戸の無償提供を開始



避難所の様子

1月10日

1月10日～

避難所運営活動
輪島市に市職員53人を派遣(予定を含む)



支援物資の仕分け作業

1月12日